

HPCロードマップWGの開催

12月3日(金)にHPCロードマップWGがリモートで開催されました。当日の出席者は、事務局を含め19名でした。今回も前回に引き続き、各サブWG(材料・化学, 建設, 機械, 自動車)の検討進捗状況について、情報共有をしました。各サブWGとも、取り上げるべきテーマの絞り込みが進み、最終的な成果物の輪郭が見えてきた感じがします。今後は、更に各サブWGで検討を進め、今年度内に全体構成と、更新内容の詳細について固める予定です。

施策検討WGの開催

12月8日(水)に施策検討WGがリモートで開催されました。当日の出席者は、事務局を含め13名でした。HPCIの産業利用においては、研究開発利用が前提となりますが、企業活動の一環としてHPCIを活用するならば、純粋な研究開発では収益に結び付かず、プロダクション的な利活用が必用となります。然しながら、企業が製品開発を進める為に公共である施設を独占利用(プロダクションランとして)する事は、避けなければなりません。そのため研究開発利用とプロダクションラン利用に一線を引く必用があるのではないかと、この議論がWGの中で続いています。

第14回スーパーコンピューティング技術産業応用シンポジウムの開催

12月10日(金)に、第14回スーパーコンピューティング技術産業応用シンポジウムがリモート開催されました。今回のテーマは、「Society5.0に向けた「富岳」への期待」でした。当日は、来賓として、文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付計算科学技術推進室長及び経済産業省情報政策局情報産業課デバイス・半導体戦略室長を来賓としてお迎えし、ご挨拶を頂いた後、以下のアジェンダに沿って講演、質疑応答が行われました。当日の参加者数は、218名と大変盛況でした。

《アジェンダ》

1. 産応協活動報告：産応協企画委員長 池田 基久
2. 特別講演1：データ同化流体科学のすすめ
東北大学 流体科学研究所 教授 大林 茂氏
3. 特別講演2：「富岳」成果創出加速プログラム 地震課題の紹介
海洋研究開発機構地震津波予測研究開発センター長 堀 高峰氏
4. 講演1：デジタルツインコンピューティングのためのシミュレーションベース機械学習
NTTコミュニケーション科学基礎研究所
上田特別研究室・特別研究室長(NTTフェロー)、
機械学習・データ科学センター代表 上田 修功氏
5. 講演2：機械学習と大規模粗視化分子動力学によるフィラー充填ゴムの微細構造設計
横浜ゴム株式会社研究先行開発本部AI研究室 小島 隆嗣氏
6. 講演3：サステナブルなまちづくりに向けた大規模数値シミュレーション
株式会社竹中工務店技術研究所 畔上 泰彦氏

7. 講演4：数値曳航水槽の実現について

一般財団法人 日本造船技術センター

技術開発部 技術企画課 課長

西川 達雄 氏

8. 「富岳」を含むHPCI利用研究課題の募集と利用支援

高度情報科学技術研究機構

齊藤 哲 氏

第29回運営委員会の開催

第29回運営委員会が12月17日（金）にリモートにより開催されました。当日は、登録運営委員数16名に対し、代理出席、委任状出席を含め16名の医院が出席され、その他にアドバイザーとして東京大学の小林名誉教授、加藤教授と、企画委員・事務局他16名が陪席出席いたしました。アジェンダは以下の通りでした。

《アジェンダ》

第1号議案〔審議〕 前回議事録確認

第2号議案〔審議〕 2022年度運営体制について

第3号議案〔報告〕 2021年度事業活動について

①活動全体概要

②施策提言WG

③HPCロードマップWG

④人材育成WG

⑤コミュニティ活動

第4号議案〔報告〕 2021年度予算状況

第5号議案〔報告〕 HPCIコンソーシアム活動進捗報告

以 上

【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】

住所：東京都港区虎ノ門2-10-1 虎ノ門ツインビルディング西棟4階

電話：03-3435-5425 E-Mail：icscp_office@icscp.jp

担当：中川，滝口

《新規産応協会員募集について》

産応協では、新規会員を随時募集しております。

会員種別には、正会員，準会員，登録会員の三種類を設けております。

関心をお持ちの方は、以下URL若しくはQRコードより詳細をご確認のうえ、申請頂きたくよろしくお願ひ申し上げます。

<http://www.icscp.jp/admission/>

